

注 意 報

茨城県病害虫防除所

平成 23 年 6 月 29 日

病害虫発生予察注意報 第 3 号

露地栽培でブドウべと病が多発生しています 初期防除を徹底しましょう！

[発令の内容]

作物名 : ブドウ
病害虫名 : べと病
発生量 : 多い
発生地域 : 県下全域

[発令の根拠]

6 月下旬現在, 発病葉率は平年より高く(図), 一部圃場では果房での発病が認められた。
気象予報(6 月 24 日発表) によると, 向こう 1 か月の前半は, 曇りや雨の日が多いと予想され, 発生を助長する条件である。

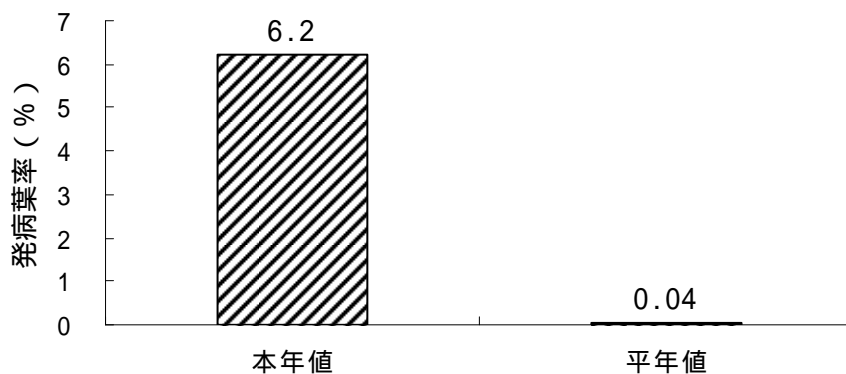


図 ブドウべと病の発生状況
(6 月下旬現在の県内露地圃場 3 調査地点の平均値)

[防除対策]

発病した葉や果房は伝染源となるので, 見つけ次第早急に除去し, 土中深く埋めるなど適切に処分する。

発病が確認された圃場では, 発病した葉や果房を除去した後に薬剤防除を行う。

一度発生すると短期間のうちに蔓延するので, 発生に注意し, 発生が少ないうちに防除を徹底する。

散布薬剤は「露地巨峰病害虫参考防除例」や表を参考にし, 散布間隔が 10 日以上空かないよう注意する。

薬剤散布量は 10a 当たり 250 リットルを目安に, 丁寧に散布する。圃場の周縁部など, 薬液のかかりにくい部分に対しては, 手散布等により補正散布を行う。

表 ブドウべと病に登録のある主な薬剤（平成23年6月22日現在）

薬剤名	希釈倍数	収穫前日数 - 本剤の使用回数	有効成分
アミスター10フロアブル ¹⁾	1,000倍	30 - 3	アゾキシストロビン
ホライズンドライフフロアブル ¹⁾²⁾	2,500 ~ 5,000倍	21 - 3	シモキサニル+ ファモキサドン
ランマンフロアブル ¹⁾	1,000 ~ 2,000倍	14 - 3	シアゾファミド
ベトファイター顆粒水和剤 ²⁾	2,000 ~ 3,000倍	30 - 3	シモキサニル+ ベンチアバリカルブ イソプロピル
ライメイフロアブル	3,000 ~ 4,000倍	14 - 3	アミスルブロム
レーバスフロアブル	2,000 ~ 3,000倍	14 - 3	マンジプロパミド

1) 露地巨峰病害虫参考防除例に掲載されている

2) ホライズンドライフフロアブルとベトファイター顆粒水和剤は、有効成分にシモキサニルを含んでいるため、使用回数に注意する。

農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載の使用方法・注意事項等を確認のうえ、周辺作物への飛散に留意してください。

幼果期以降の薬剤散布は、薬剤によっては果粉溶脱や果実の汚れを生じるおそれがあるので、農薬のラベルに書かれた使用上の注意事項をよく確認する。

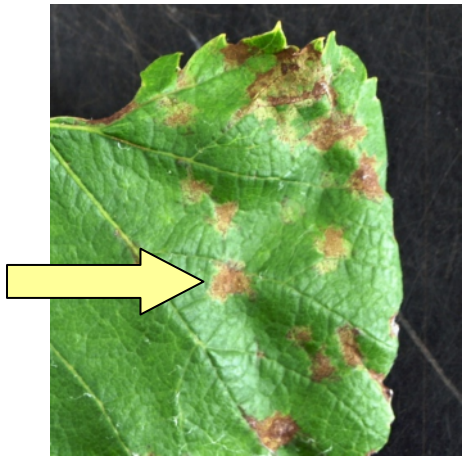


写真1 ブドウべと病発病葉（表面）

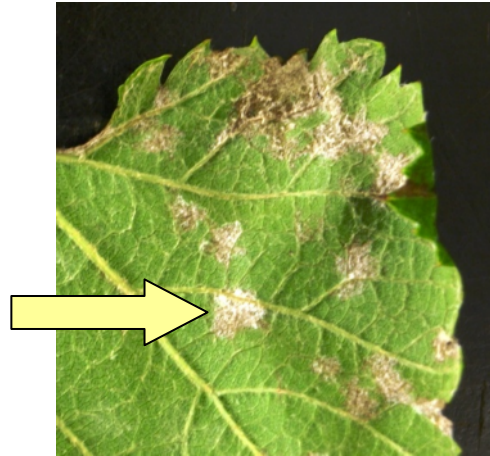


写真2 ブドウべと病発病葉（裏面）

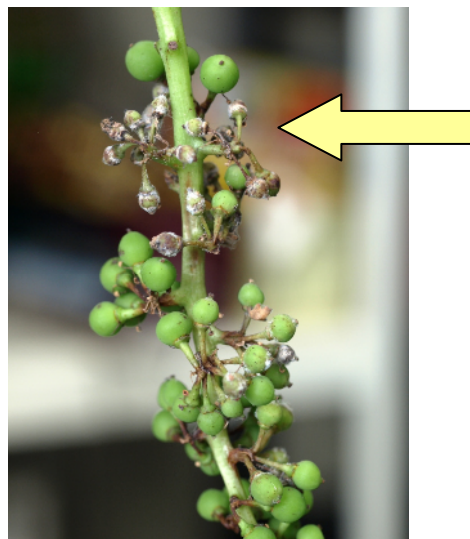


写真3 ブドウべと病発病果房